

事後評価【番号2】

**総合流域防災事業
二級河川奥潟川水系 奥潟川**

● 事業の目的及び経緯

事業の目的

奥潟川は、河道断面が狭く流下能力が低いため、古くから豪雨等により甚大な被害が発生していた。このため、浸水被害を軽減させることを目的として河道拡幅などの改修を行った。

河川概要

- ・ 流路延長3.0km
- ・ 流域面積6.6km²
- ・ 昭和41年度台風13号
(床上1戸、床下13戸)

事業概要

- ・ 昭和44年度着工。
(改修延長1,900m)
- ・ 平成24年度完成。

位置図



概要図



出典：Google Earth

● 状況写真

整備状況



整備後

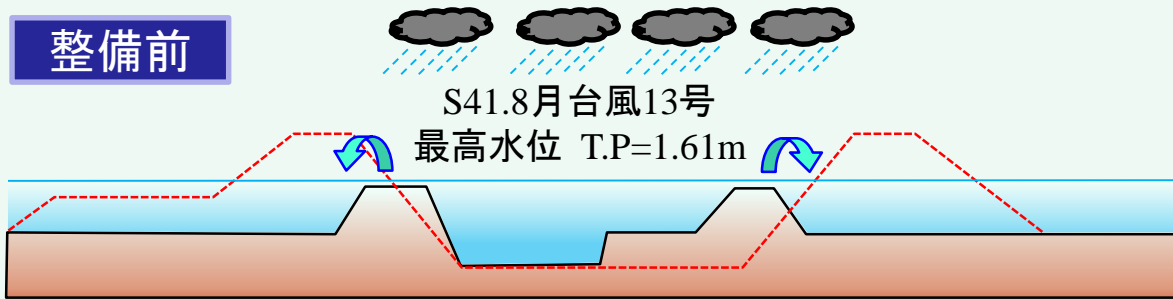


計画上の整備効果

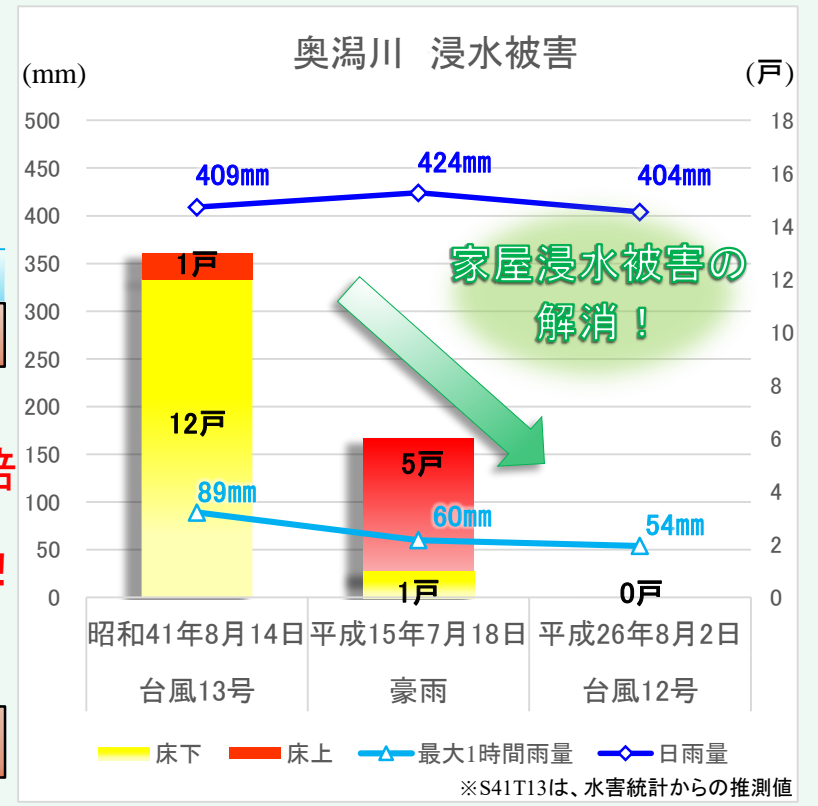
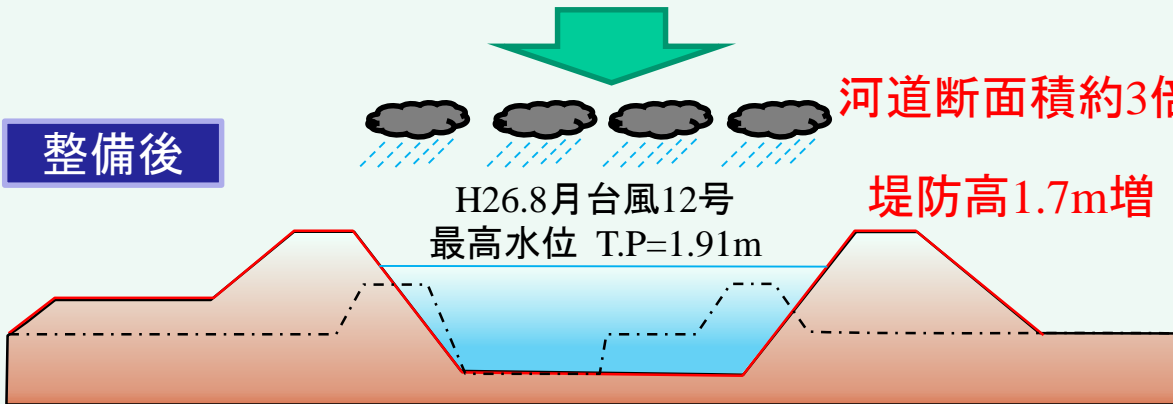
- ・ 昭和41年台風13号と同程度の降雨（年超過確率1/30）による家屋浸水被害の解消。

改修による整備効果

整備前



整備後

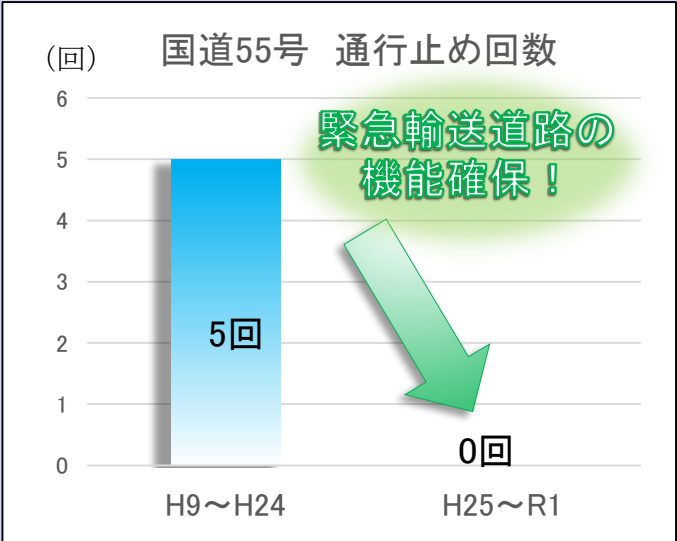


治水安全度 (1/30) 確保

奥潟川総合流域防災事業

● 整備によるストック効果

冠水による通行止め解消



人口増加と土地価格減少緩和

